

十和田の火山活動解説資料（平成 28 年 10 月）

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1～2）

11 日に青森県の協力により実施した上空からの観測では、噴気及び地熱域は認められませんでした。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

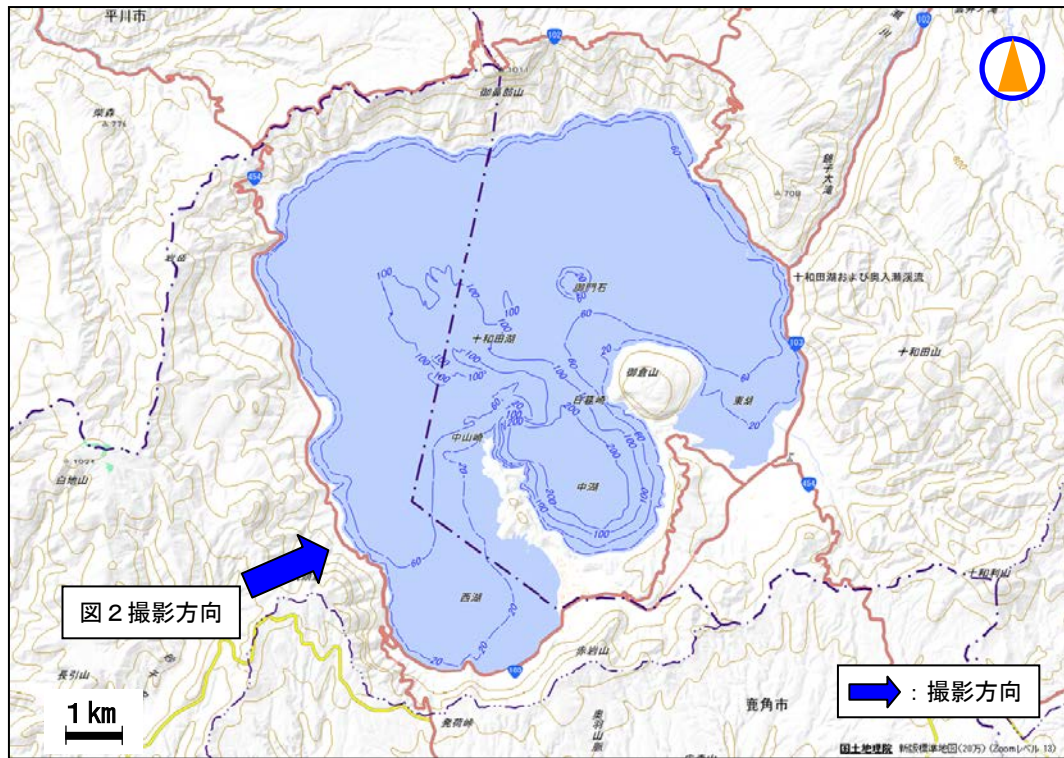


図1 十和田 上空からの御倉山と中湖の写真及び地表面温度分布¹⁾ 撮影方向

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

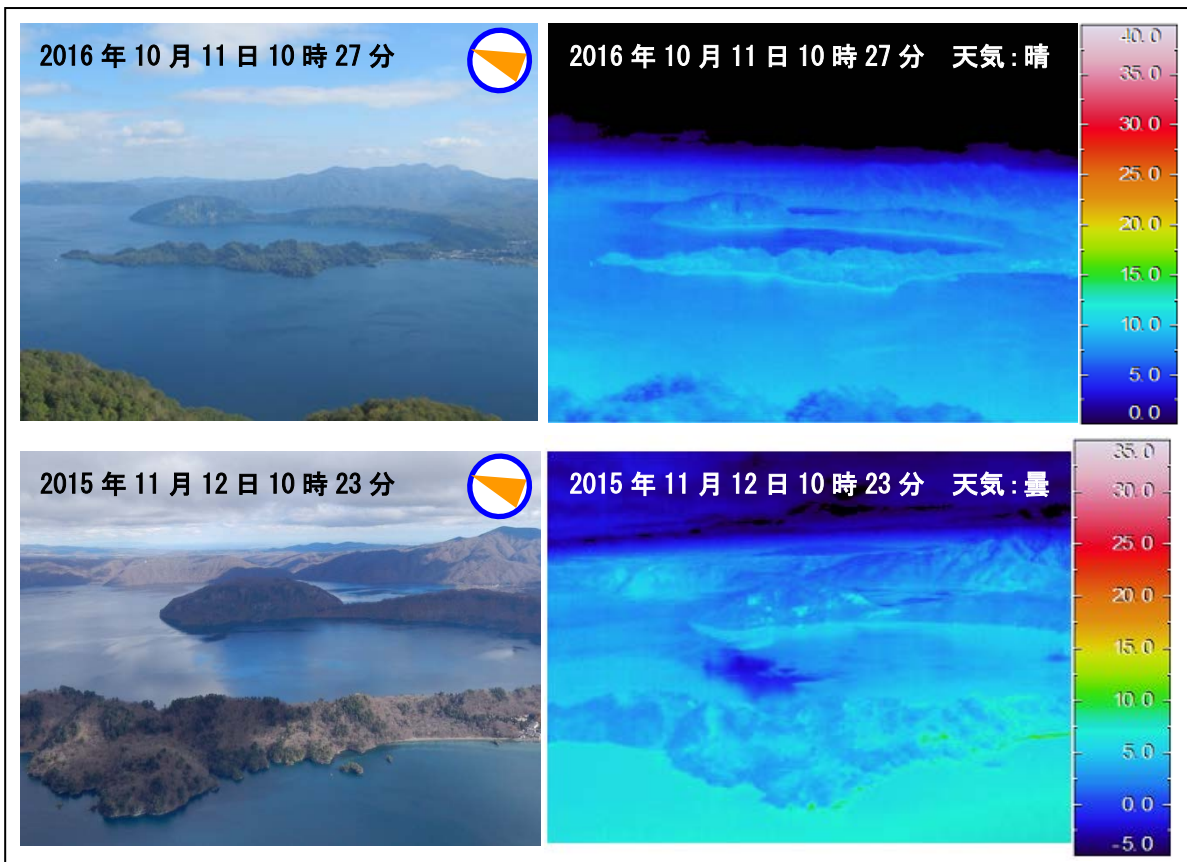


図2 十和田 上空から撮影した御倉山及び中湖の状況と地表面温度分布

- ・前回（2015年11月12日）と同様、噴気及び地熱域は認められませんでした。
- ・やや温度の高い領域は日射による影響と考えられます。